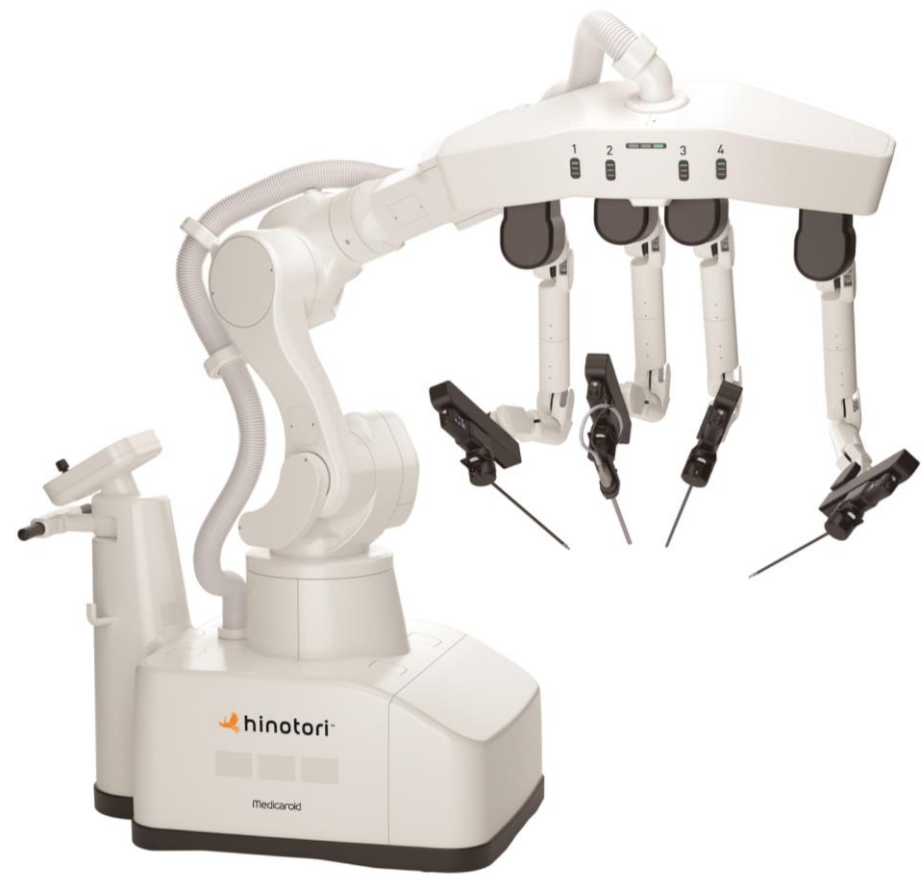


初の国産手術支援ロボット **hinotori™** 九州内で初めて大分大学医学部附属病院に導入



2022年6月18日搬入

九州第1例目のhinotori™を用いた手術を実施 (2022年8月24日)

症例： 70歳代 男性

疾患名： 前立腺がん

術式名： ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術

担当科： 医学部附属病院 腎臓外科・泌尿器科チーム

執刀医： 医学部腎泌尿器外科学講座 教授 秦 聡孝 (しんとしたか)

出血量： 少量

輸血量： なし

術中合併症： なし

術後の経過： 良好





メディカロイド 概要

所在地： 神戸市中央区港島南町1丁目6-5 国際医療開発センター6階

出資会社： 川崎重工業株式会社、シスメックス株式会社（出資比率：50%）

事業内容： 医療用ロボットの開発、設計、製造、販売、アフターサービス



日本初の産業用ロボット製造販売元
産業用ロボットビジネス50年以上の歴史



検査・診断領域における50年以上の実績と経験
190カ国以上へ販売/血液検査装置市場での
グローバルシェアNo.1

「hinotori™サージカルロボットシステム」のこれまでの経緯

一般的名称：手術用ロボット手術ユニット
販売名：hinotori サージカルロボットシステム
承認日：2020年8月7日
承認番号：30200BZX00256000

【使用目的又は効果】

本品は、**泌尿器科領域において**内視鏡手術を実施する際に、組織又は異物の把持、切開、鈍的/鋭的剥離、結紮、高周波電流を用いた切開・凝固、縫合及び操作、並びに手術付属品の挿入・運搬を行うことにより、術者の内視鏡手術器具操作を支援する装置である。

→今後、消化器外科・婦人科領域等にも適応拡大の見込み



サージョンコックピット



オペレーションユニット



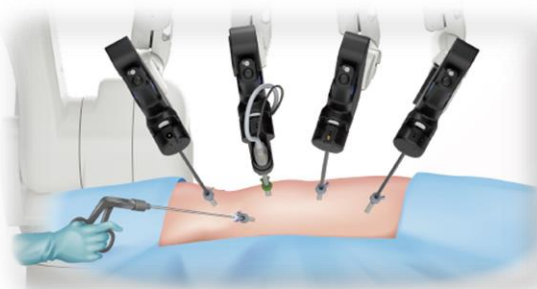
ビジョンユニット

特徴

- 人の腕のスマートな動きを追求（da Vinci®より1軸多い、8軸アーム）



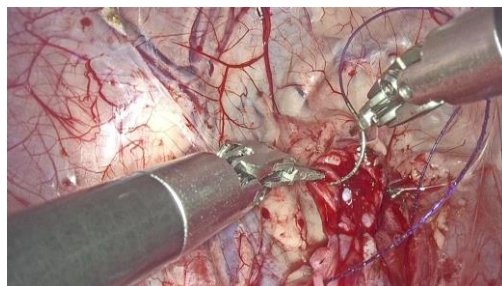
- ドッキングフリーデザイン



- ロールインアシスト機能



- 高精細3Dフルハイビジョン画像



- エルゴノミクスデザイン

